

ロータリー 役割知って

高經大
名譽教授

田中さんが出版

体験談交え
魅力を紹介



「そうだったのか!? ロータリークラブ!!」を出版した田中さん

高崎ロータリークラブ（RC）会長や県内クラブのまとめ役、国際ロータリー第2840地区ガバナーを務めた高崎経済大名菅教授の田中久夫さん（68）が「そうだったのか!? ロータリークラブ!!」（幻冬舎）を出版した。RCの魅力や社会における役割、クラブのある人生をさらに楽しむ秘訣（ひけつ）を体験談を交えながら紹介する。「多くの人にロータリーのことを知ってほしい」と話す。

リー第一地域ロータリー会員増強コーディネーター（RMC）を務め、全国のクラブで講演する。

本書は好評だった「ロータリークラブに入ろう！」（21年）に続く2冊目の著書で、中級編に位置付けた。

田中さんは1998年に高崎RCに入会し、2014～15年に会長を務め、17～18年に同地区ガバナーとなる。現在は国際ロータリー国内外に人脈を広げ、各地のクラブが課題とする会員増強や退会防止、新会員の誘い方、シニア会員の「トリセツ」、理想のクラブ・

新クラブのつくり方

とした。

公共インフラの向上などをテーマに会員向けの実戦的な手法、課題解決のヒントを記す。

田中さんは「DEEはロータリーの根幹。奉仕団体であることの誇りとともに保つてい

国際ロータリーが推進する「DEI」の理念にも触れ、多様性、公平さ、インクルージョン（包摂性）の精神が大切と指摘。あらゆる背景を持つ人々を歓迎し、寛容かつ公平で誰もが活躍できる環境づくりを目指すべきだ

かなければいけない」と強調。「一般の人に
もロータリークラブをもっと知ってもらい、仲間になつてもらえたらうれしい」と話した。

新書判、208頁。
990円。書店やオンラインサイトで購入できる。

（稲村勇輝）

新書判、208ページ。
990円。書店やオンライン
サイトで購入できる。
(稲村勇輝)